国立大学法人鹿児島大学
インフラ長寿命化計画

令和 5 年 10 月 31 日　大学運営会議決定

目次

01　共通事項

1-1. 趣旨　2
1-2. 体系　3
1-3. 対象施設　4
1-4. 計画期間　4

02　行動計画

2-1. 現状　6
2-2. 課題　9
2-3. 中長期的なコストの見通し　10
2-4. 取組の方向性　16
2-5. フォローアップ計画　19

03　個別施設計画

3-1. 個別施設の状態等　21
3-2. 中期修繕計画　22

01　共通事項

1-1. 趣旨

本学は、教育研究施設、病院施設、職員宿舎、学生寄宿舎等、多種多様な施設等を所有しているが、建築後 25 年以上を経過し、改修済でない建物が全体の約 34％を占めるなど、老朽化が進行している。

現下の厳しい財政状況の中、これらの施設を全て従来の改築の手法で対応していくことは困難であることから、点検により劣化、損傷等の老朽化の状況を的確に把握した上で、優先順位付けや予算の平準化、トータルコストの縮減等を加味した計画を策定し、同計画に基づき効果的・効率的に長寿命化を図ることにより、良好な状態の維持や安全性の確保に努めていく必要がある。

文部科学省は、「インフラ長寿命化基本計画」（平成 25 年 11 月 インフラ老朽化対策の推進に関する関係府省庁連絡会議決定）（以下「基本計画」という。)に基づき、文部科学省が所管又は管理する施設の維持管理等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにするため、平成 27 年 3 月に「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画)」（以下「文科省行動計画」という。)を策定し、また、令和 3 年 3 月に、これまでの取組の進捗状況や情報・知見の蓄積状況等を踏まえ、「文科省行動計画」の改定を行っている。

さらに、国立大学法人等に対し、「基本計画」や「文科省行動計画」等を踏まえ、当該施設の維持管理、長寿命化等に適切に取り組むよう依頼するなど、インフラの戦略的な維持管理等を推進している。

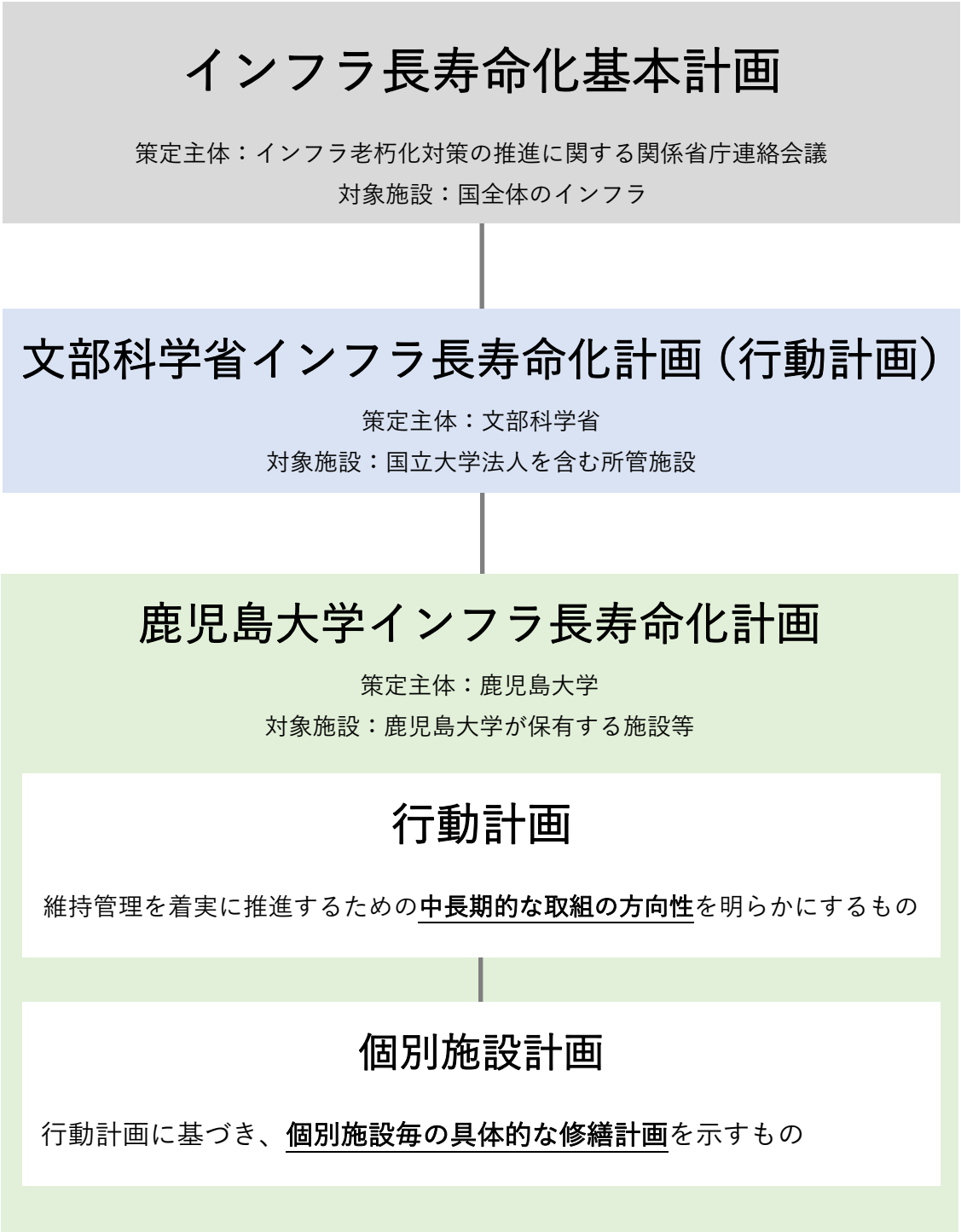
本学では、平成 29 年 3 月に「鹿児島大学インフラ長寿命化計画（行動計画)」（以下「行動計画」という。）を、平成 31 年 2 月に「鹿児島大学インフラ長寿命化計画（個別施設計画)」（以下、「個別施設計画」という。）を順次策定し、これらの計画に基づき施設の維持管理や長寿命化を推進してきたところである。

令和 4 年 3 月の「鹿児島大学キャンパスマスタープラン 2022」の改定による将来像の見直しを踏まえ、点検により対象施設の現状と課題等を再整理し、「鹿児島大学インフラ長寿命化計画」の改定を行い、インフラ長寿命化対策のさらなる取組を推進していく。

「行動計画」においては、これまで掲げた取組の方向性を継承しつつ、政府全体や文部科学省の取組を踏まえた見直しを行い、「個別施設計画」においては、「行動計画」の見直し及び個別施設の状態等の変化を踏まえ、具体的な修繕計画の見直しを行う。

1-2. 体系

体系図を以下に示す。



▲インフラ長寿命化計画の体系図

1-3. 対象施設

500 ㎡以上の学生・教職員が利用する建物及び基幹設備・ライフラインを対象とする。ただし、危険度が高く、緊急を要する場合はこの限りではない。

1-4. 計画期間

令和 5（2023）年度から 40 年間を計画期間とする。

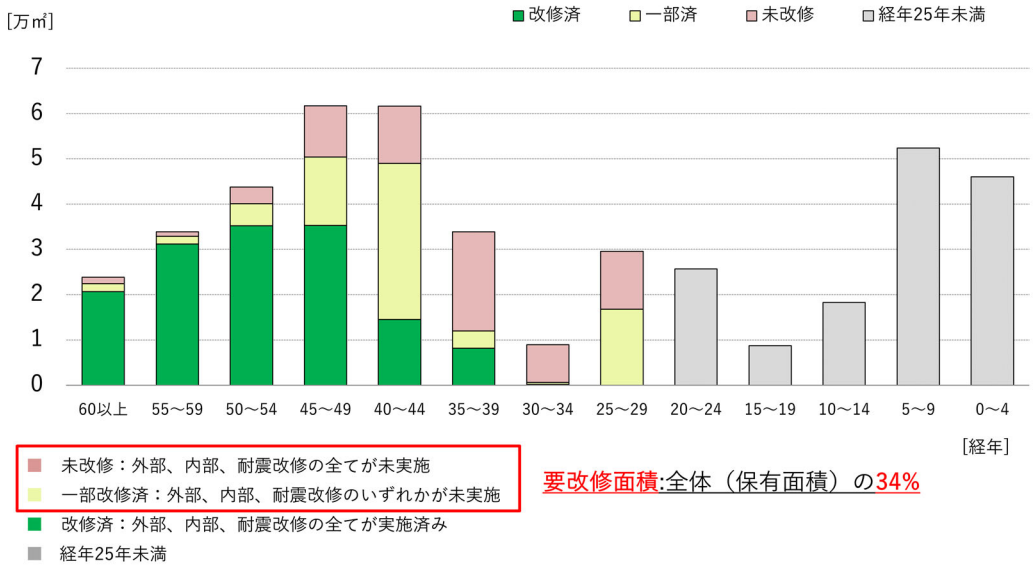
02　行動計画

2-1. 現状

（1）施設の現状

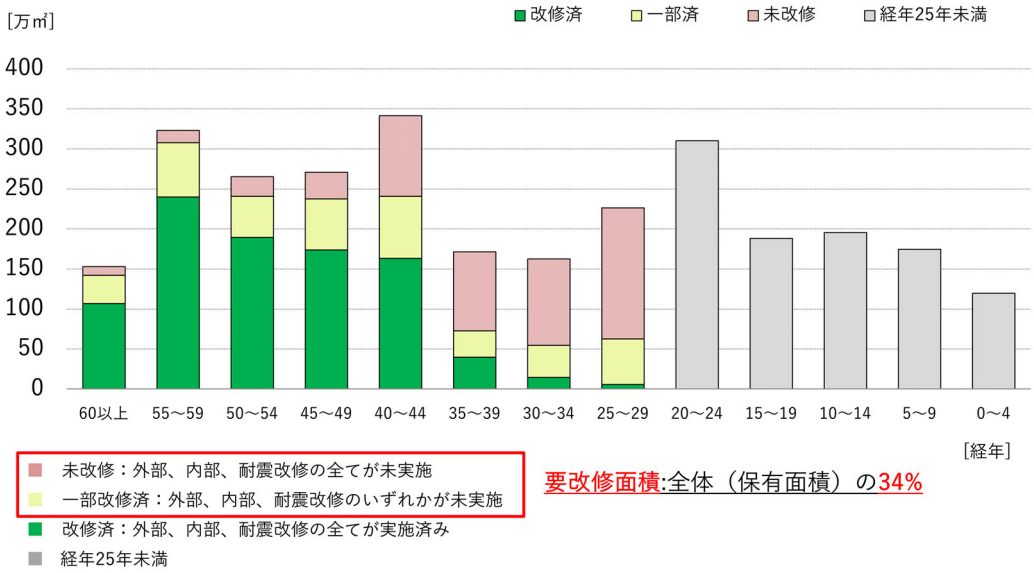
本学は約 45 万㎡の建物を保有している。そのうち改修を要する建物（経年 25 年以上の建物で改修済でないもの）は約 15 万㎡あり、全体の約 34％を占める。

なお、国立大学法人等全体（約 34％）と同程度である。



要改修面積:全体（保有面積）の34%

▲鹿児島大学　経年別保有面積（令和 5 年 5 月 1 日現在）



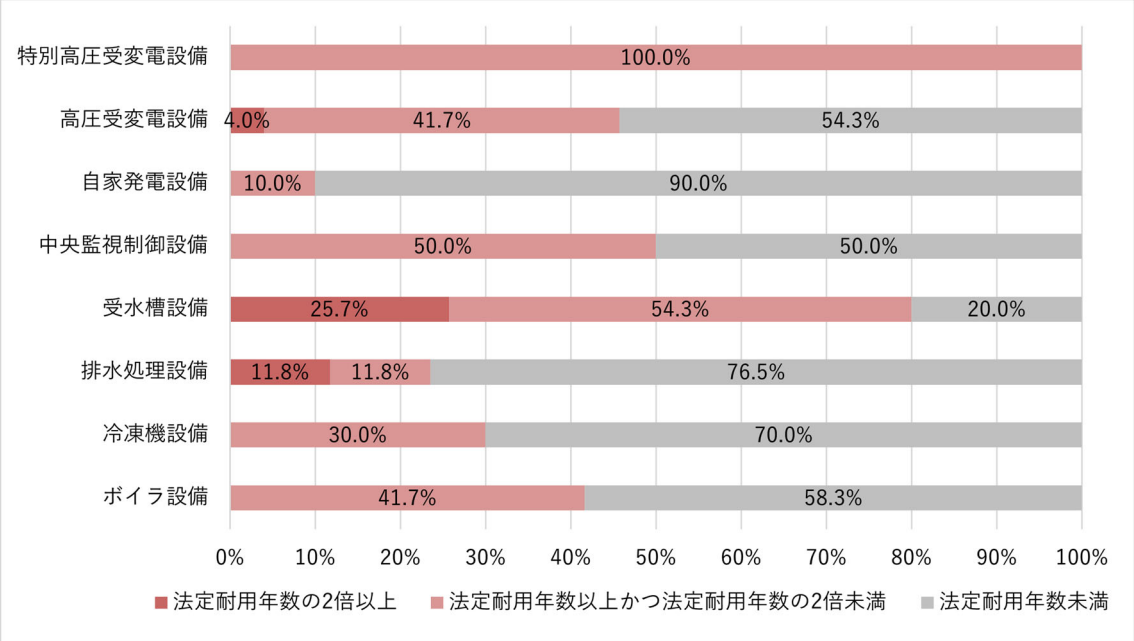
要改修面積:全体（保有面積）の34%

▲国立大学法人等全体　経年別保有面積（令和 5 年 5 月 1 日現在）

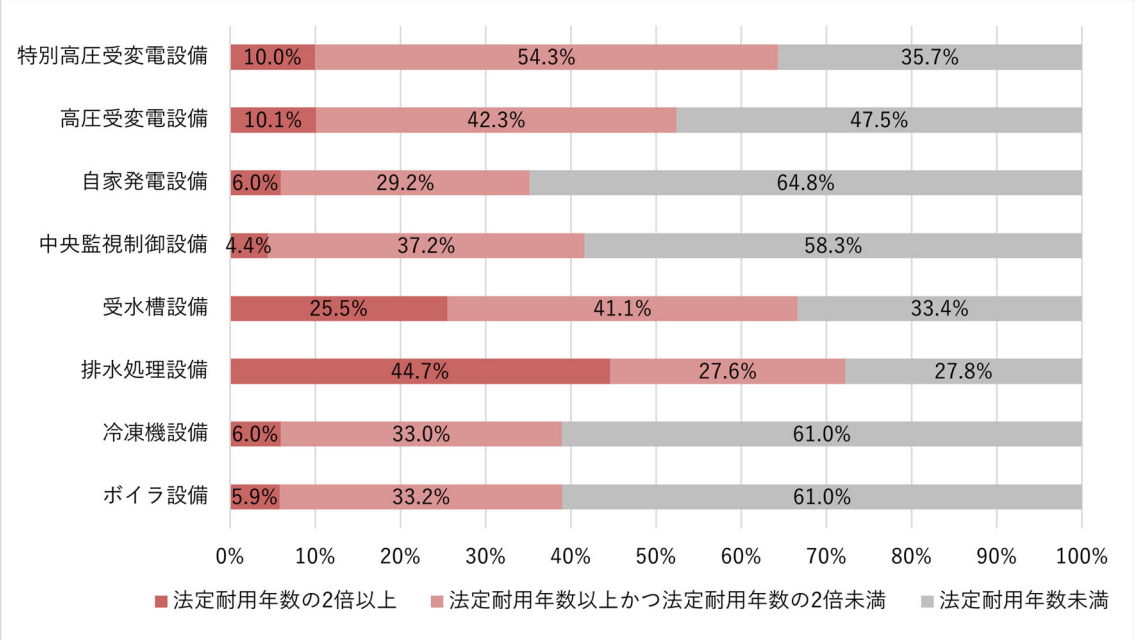
（2）基幹設備・ライフラインの現状

本学の基幹設備は、全ての設備において、法定耐用年数を経過しているものがあり、高圧受変電設備、受水槽設備、排水処理設備においては、法定耐用年数の２倍以上を経過しているものもある。

なお、国立大学法人等全体では、全ての設備において、法定耐用年数の２倍以上を経過したものがある状況である。



▲鹿児島大学　基幹設備の経年別割合（令和５年５月１日現在）

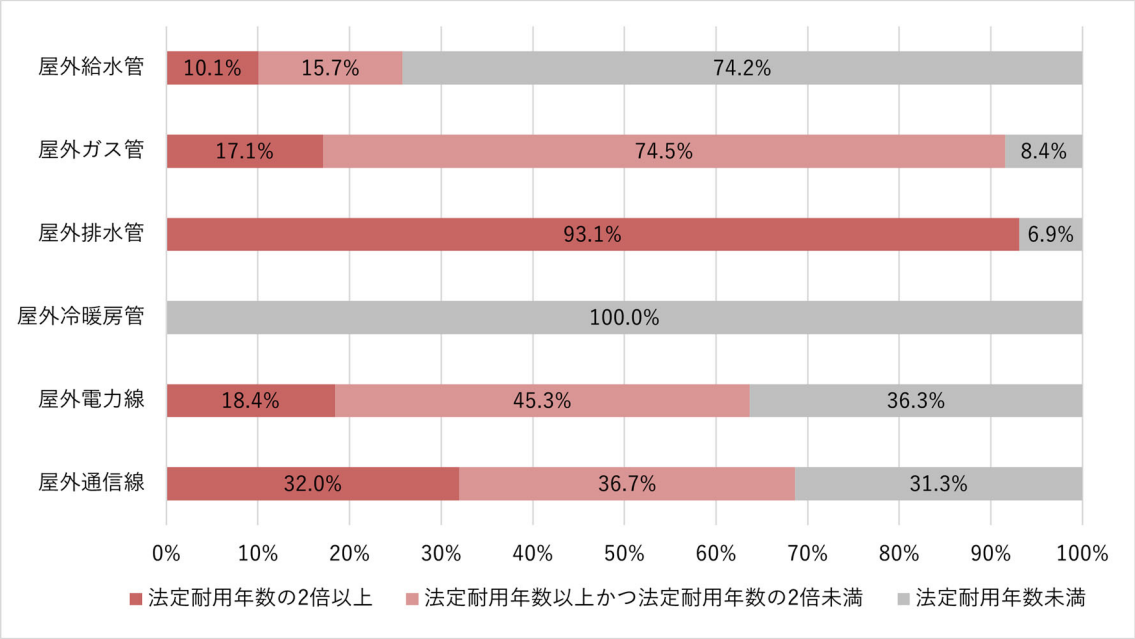


▲国立大学法人等全体　基幹設備の経年別割合（令和５年５月１日現在）

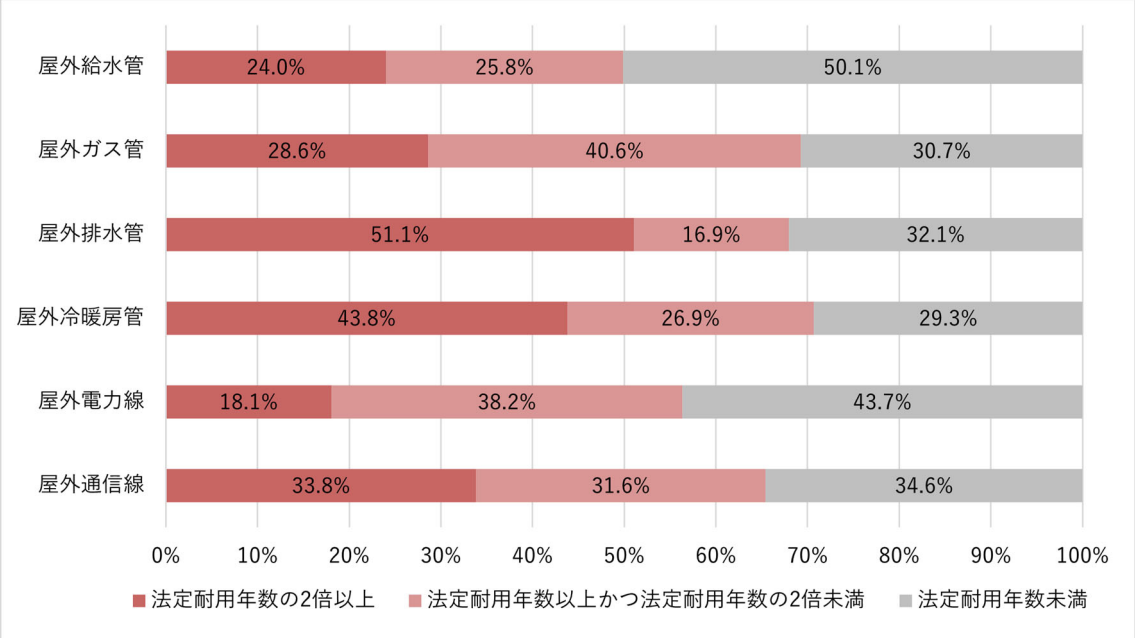
本学のライフラインは、屋外冷暖房管を除く全てのライフラインにおいて、法定耐用年数の２倍以上を経過しているものがある。

なお、国立大学法人等全体では、全てのライフラインにおいて、法定耐用年数の２倍以上を経過したものがある状況である。

老朽化が進行すると、故障が増加し、教育研究活動の中断が頻発することが危惧される。



▲鹿児島大学　ライフラインの経年別割合（令和５年５月１日現在）



▲国立大学法人等全体　ライフラインの経年別割合（令和５年５月１日現在）

2-2. 課題

（1）建物毎の劣化状況等の把握

老朽化が進行する中、建物の部位毎の劣化状況や修繕費の把握が重要であり、現地建物診断による建物劣化診断書（建物カルテ）の定期的な更新が課題である。

（2）計画的な老朽化対策の実施

中長期的なコストの見通し、建物毎の劣化状況等を踏まえ、計画的な老朽化対策を実施し、トータルコストの縮減、予算の平準化を図っていくことが課題である。

（3）事後保全から予防保全体制への転換

教育研究活動への支障、トータルコストの縮減のためにも、不具合が発生してから応急措置的に対処する事後保全ではなく、施設の劣化が進行する前に効果的な対策を実施し、不具合を未然に防止する予防保全体制へ転換することが課題である。

（4）財源の確保

施設整備費補助金、施設費交付金、運営費交付金等が削減される中、財源の確保が重要であり、民間の資金や創意工夫を活用していくことや、教育研究活動の成果を広く社会にアピールし、自己収入の拡大を図ることが課題である。

▲外壁・防水の劣化

▲基幹設備・ライフラインの劣化

2-3. 中長期的なコストの見通し

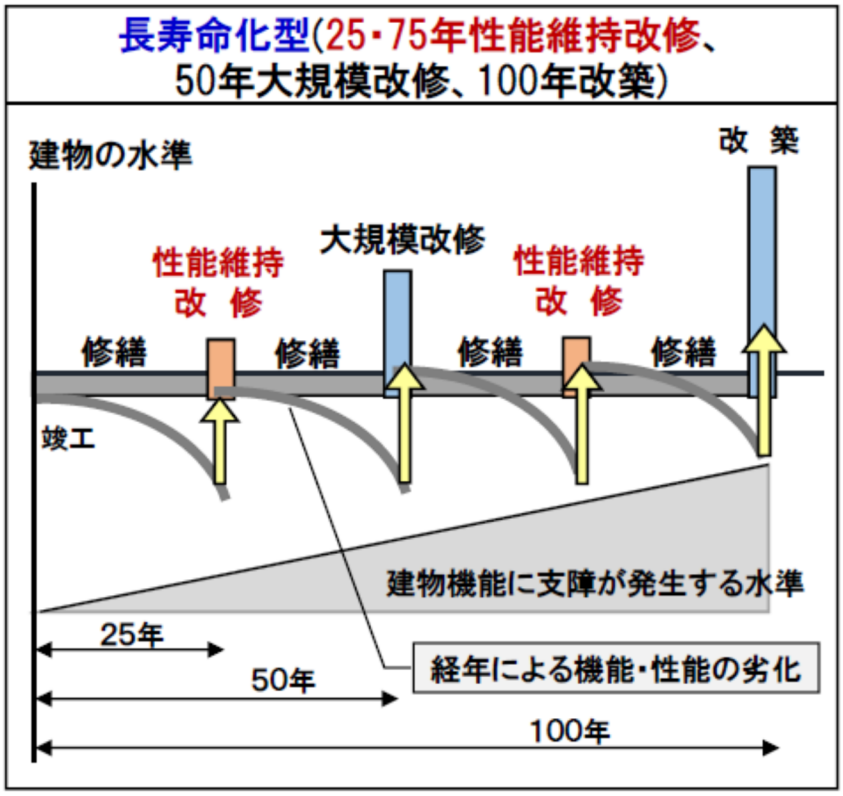
（1）長寿命化の考え方

建物については、長寿命化のライフサイクルを基本とし、築後 50 年で「大規模改修」、築後 100 年で「改築」、築後 25、75 年で「性能維持改修」を行い、適宜「修繕」を行うものとする。

ただし、長寿命化が困難な建物については、法定耐用年数程度で「改築」とし、「大規模改修」、「性能維持改修」は行わないものとする。

基幹設備・ライフラインについては、おおむね法定耐用年数の 2 倍程度を計画更新年数とし、更新を行うものとする。

改築：経年 100 年で実施する建替
大規模改修：経年 50 年で実施する間仕切り等の変更を伴う全面改修
性能維持改修：経年 25・75 年で実施する防水、外壁、空調等の機能改善改修
修繕：点検により算出された改善が必要な部位の修繕及び経常的な修繕



▲長寿命化のライフサイクルイメージ

（2）中長期的なコストの見通し

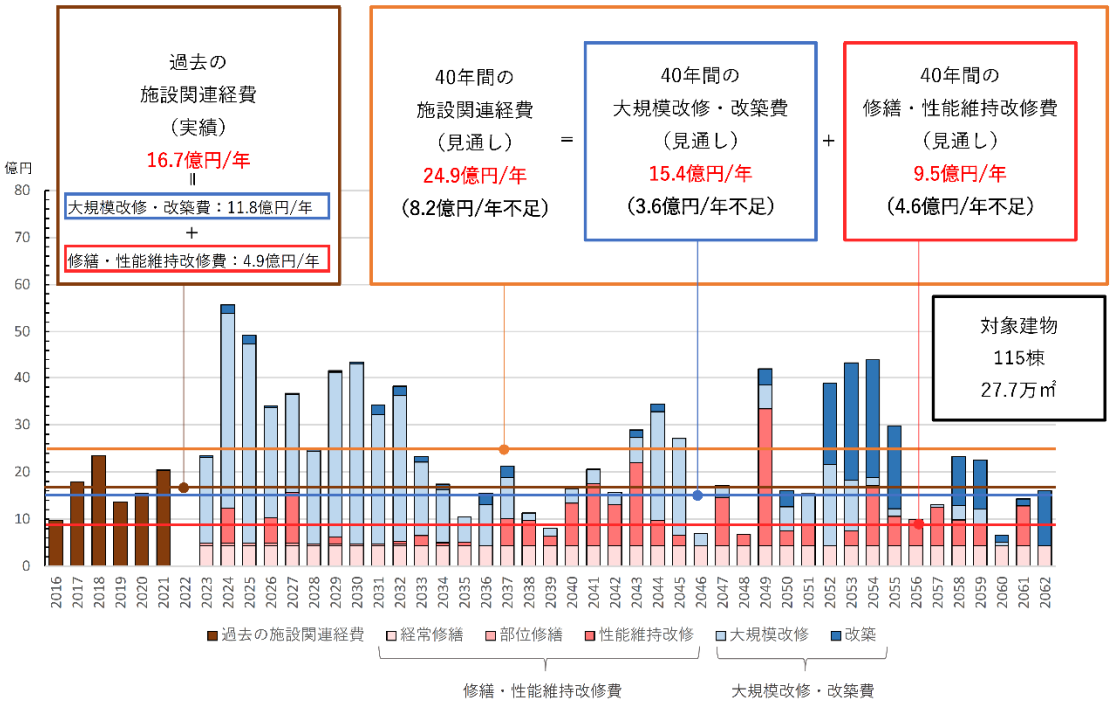
キャンパスマスタープラン 2022、建物劣化診断書（建物カルテ）及び長寿命化の考え方に基づき、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月　文部科学省）」付属ソフトを活用し、個別施設毎に中長期的なコストの見通しを算出する。

1）教育研究施設

大規模改修・改築費約 15.4 億円/年、修繕・性能維持改修費約 9.5 億円/年が必要という見通しとなった。

大規模改修・改築費は国費（施設整備費補助金等）、修繕・性能維持改修費は自己資金での実施が前提となる。

過去（第 3 期中期目標・計画期間）の実績と比較すると、大規模改修・改築費約 3.6 億円/年、修繕・性能維持改修費約 4.6 億円/年が不足し、負の資産が蓄積されている状況であり、コストの縮減、平準化、財源の確保等の対策が必要である。



▲中長期的なコストの見通し　-教育研究施設-

２）病院施設

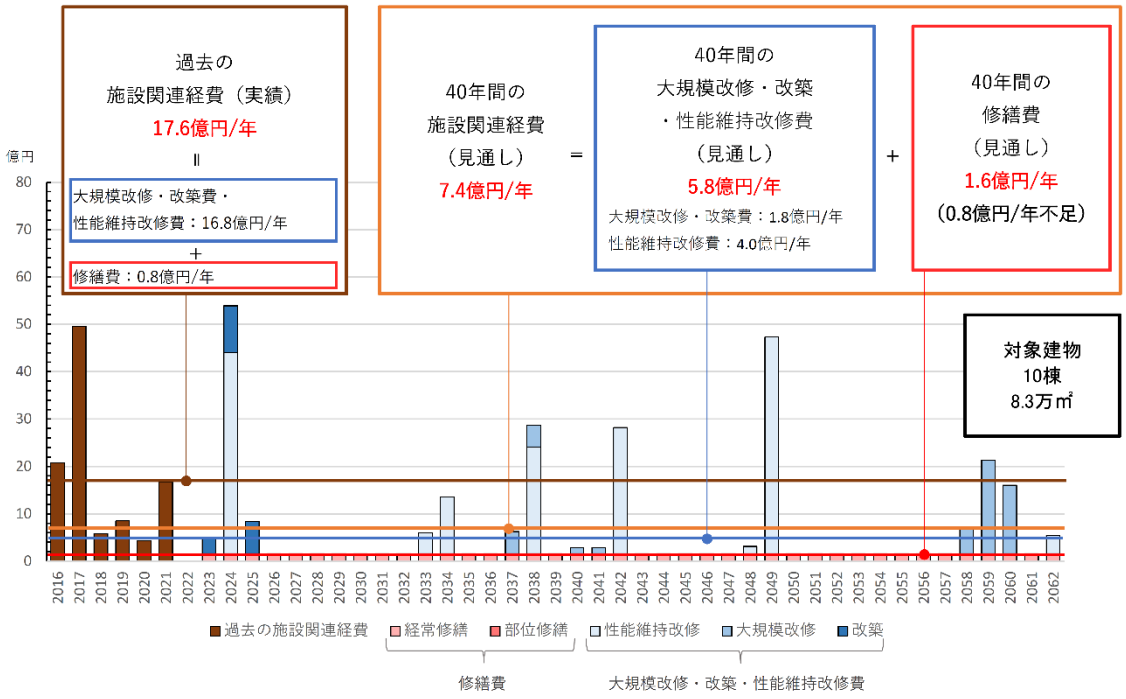
大規模改修・改築費約 1.8 億円/年（再開発整備（～2028）予定分除く）、性能維持改修費 4.0 億円/年、修繕費約 1.6 億円/年が必要という見通しとなった。

大規模改修・改築費が低くなっているのは、再開発整備（2007～2028）によって改築整備が進捗しているためである。

病院施設の場合、建物の基本的な性能の確保だけでなく、医療の変化に対応するための整備が必要であり、国立大学附属病院の再開発整備は、設置後 20～30 年程度で増築や大規模改修が開始されている※。

本学においても、大規模改修・改築、性能維持改修については、医療の変化に応じて柔軟に対応するために、再開発整備等による国費（施設整備費補助金、長期借入金等）もしくは自己資金での対応を図る。

修繕費については、自己資金での対応を図る。過去（第３期中期目標・計画期間）の実績と比較すると、約 0.8 億円/年が不足している状況であり、コストの縮減、財源の確保等の対策が必要である。



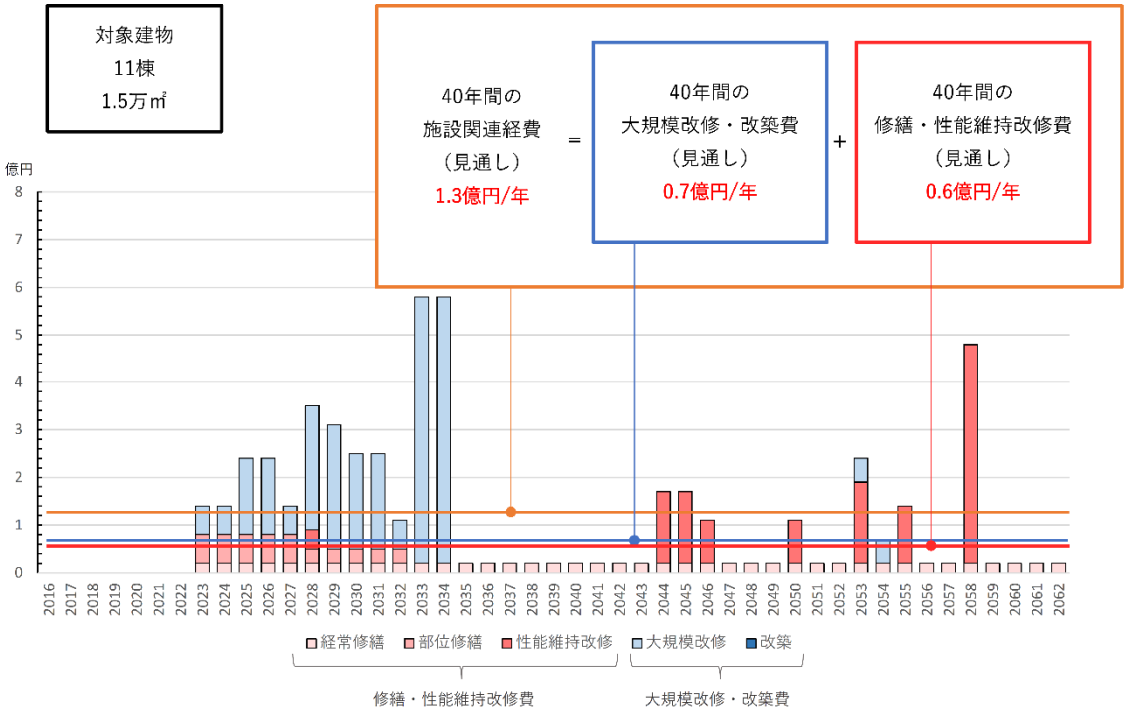
▲中長期的なコストの見通し　-病院施設-

※「これまでの国立大学附属病院施設再開発整備（令和元年７月　文部科学省）」より

3）職員宿舎

大規模改修・改築費約 0.7 億円/年、修繕・性能維持改修費約 0.6 億円/年が必要という見通しとなった。

職員宿舎は家賃収入があるため、原則独立採算型での整備となるが、用途廃止等の検討が行われていることから、その結果によって計画を見直す。

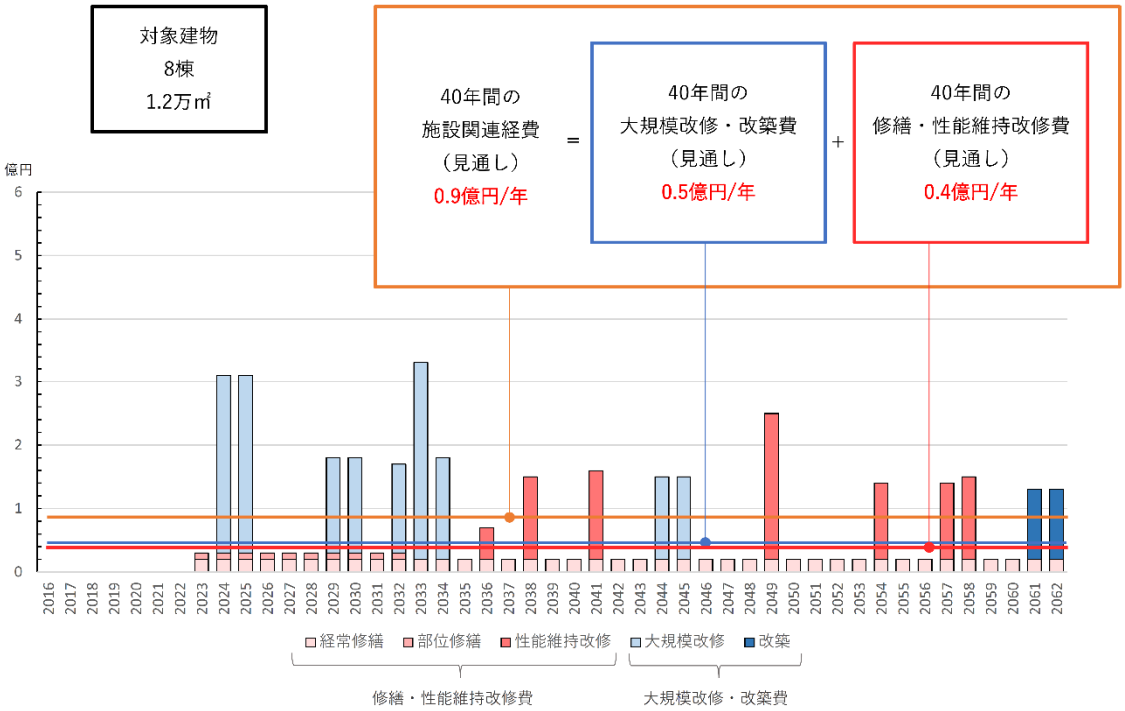


▲中長期的なコストの見通し　-職員宿舎-

4）学生寄宿舎（国際交流会館含む）

大規模改修・改築費約 0.5 億円/年、修繕・性能維持改修費約 0.4 億円/年が必要という見通しとなった。

学生寄宿舎は家賃収入があるため、原則独立採算型での整備となる。改修、増築、廃止等の検討が必要であり、その結果によって計画を見直す。



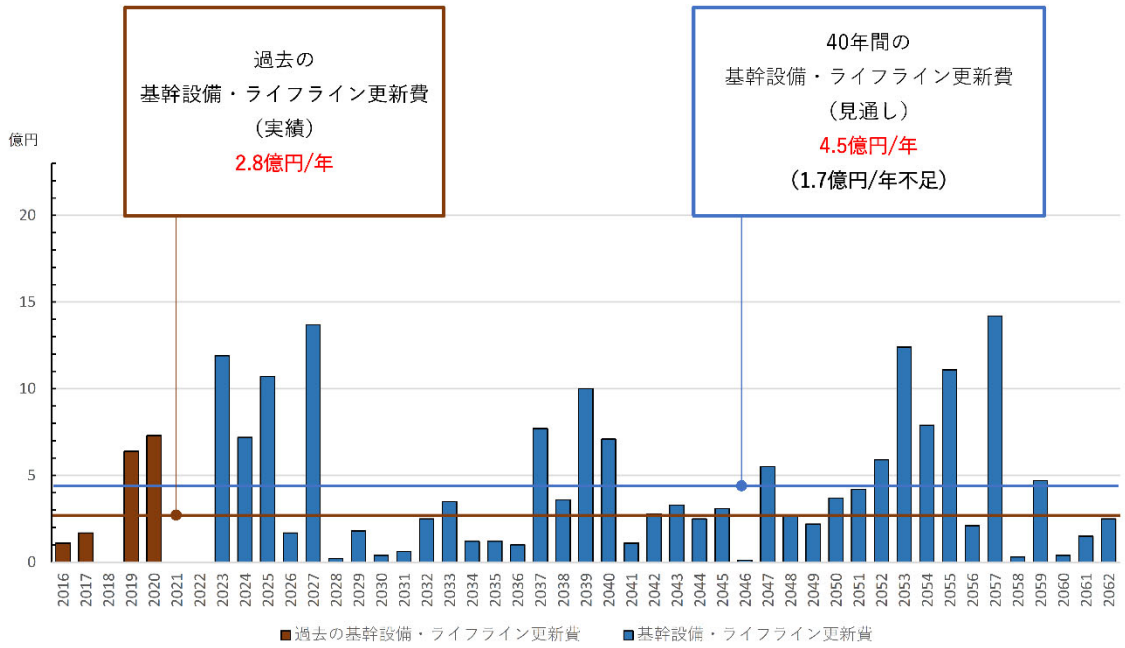
▲中長期的なコストの見通し　-学生寄宿舎-

5）基幹設備・ライフライン

更新費約 4.5 億円/年が必要という見通しとなった。

更新費は、国費（施設整備費補助金等）での実施が前提となる。

第 3 期中期目標・計画期間の実績と比較すると、約 1.7 億円/年が不足している状況であり、コストの縮減、平準化、財源の確保等の対策が必要である。



▲中長期的なコストの見通し　-基幹設備・ライフライン-

基幹設備：

特別高圧受変電設備、自家発電設備、中央監視制御設備、受水槽設備、排水処理設備、冷凍機設備、ボイラ設備、新エネルギー利用設備、直流電源設備、無停電電源設備

ライフライン：

屋外給水管、屋外ガス管、屋外排水管、屋外冷暖房管、屋外電力線、屋外通信線

2-4. 取組の方向性

（1）インフラ長寿命化計画の適時見直し

キャンパスマスタープランの見直し、建物劣化診断書（建物カルテ）の更新等を踏まえ、適時インフラ長寿命化計画の見直しを行う。

（2）施設総量の最適化によるコスト縮減

キャンパスマスタープラン 2022 で示したように、運営費交付金等の予算の縮小、施設の管理運営に関する経費の削減の必要性等から、将来像（2071 年）の施設規模は対 2021 年度比△10％を目指しつつ、長寿命化により既存施設を最大限活用することとし、大規模改修・建替時期においては、集約化・廃止等を検討し、施設総量の最適化を図る。

（3）多様な財源の活用

1）スペースチャージによる計画的な性能維持改修費の確保

平成 16 年度より実施している、病院、職員宿舎を除く施設を対象としたスペースチャージ（500 円/㎡・年）を継続することで、性能維持改修費約 1.5 億円/年を確保する（教育研究環境改善事業の継続）。

2）大規模改修による光熱水費削減額の性能維持改修費への充当

平成 28 年度より実施している「大規模改修による光熱水費削減額の性能維持改修費への充当」を継続することで、不足する性能維持改修費を確保する。

なお、改修・建替に伴う省エネ整備により光熱水費が 30％削減されるとして試算した場合、将来像（2071）では、性能維持改修費約 1.6 億円/年※を確保できる。

3）目的積立金等の性能維持改修費への充当

目的積立金等を活用し、不足する性能維持改修費を確保する。（第３・４期中期目標・計画期間実績約 0.7 億円/年）

4）ネーミングライツによる修繕費の確保

ネーミングライツの推進により、修繕費の確保を図る。

5）入構料による駐車場等の計画的整備、維持管理

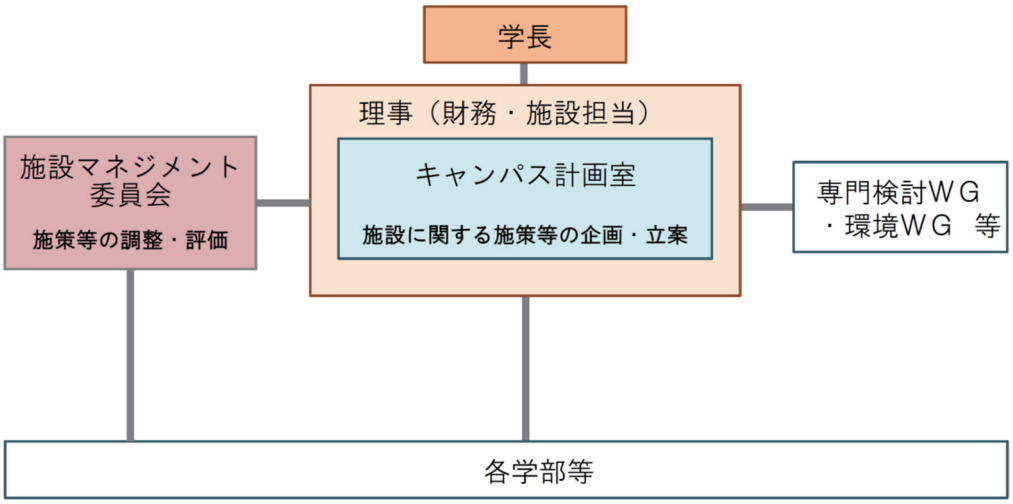
平成 28 年度より実施している、入構料による財源確保を継続することで、駐車場等の計画的整備、維持管理を適切に行う。

6）維持管理を含めた PPP/PFI などの官民連携手法の導入

維持管理にあたっては、PPP/PFI などの官民連携手法の導入により、修繕費・性能維持改修費等の確保を図る。

（4）組織体制の整備

運営組織を構築し、施設マネジメントを効率的に実施する。また、予防保全体制へ転換するため、現在各学部等で実施されている維持管理に係る業務、予算の一元化の検討を進める。



▲施設マネジメント運営組織

（5）取組を実施した場合の将来のシミュレーション

教育研究施設において、（2）施設総量の最適化、（3）多様な財源の活用で掲げた取組を実施した場合、将来（2071）では、大規模改修・改築費 2.1 億円/年、修繕・性能維持改修費 2.0 億円/年が不足する見通しとなる。

施設整備補助金等を確保し、大規模改修・改築を計画的に実施したとしても、修繕・性能維持改修費は 2.0 億円/年不足するため、さらなる施設総量の最適化によるコスト縮減、もしくは多様な財源の活用等を検討する必要がある。

＜現状（2023）＞

施設規模
28 万㎡

大規模改修・改築費
不足額：3.6 億円/年
必要額：15.4 億円/年
実績額：11.8 億円/年

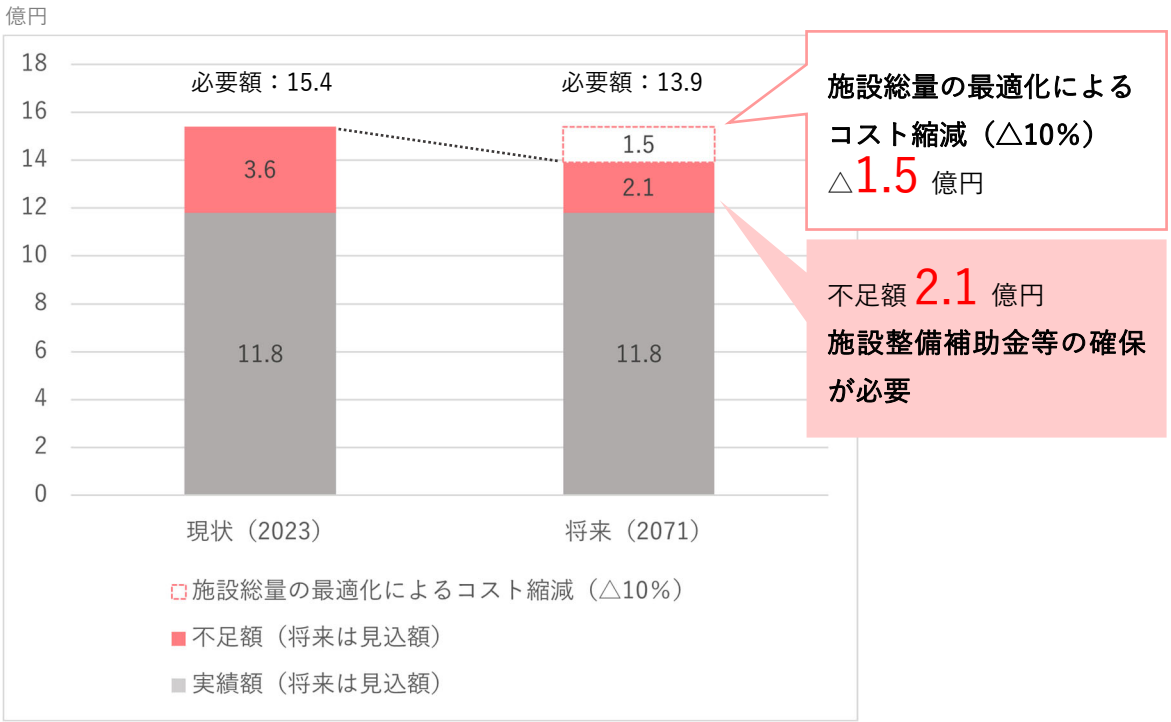
修繕・性能維持改修費
不足額：4.6 億円/年
必要額：9.5 億円/年
実績額：4.9 億円/年

＜将来（2071）＞

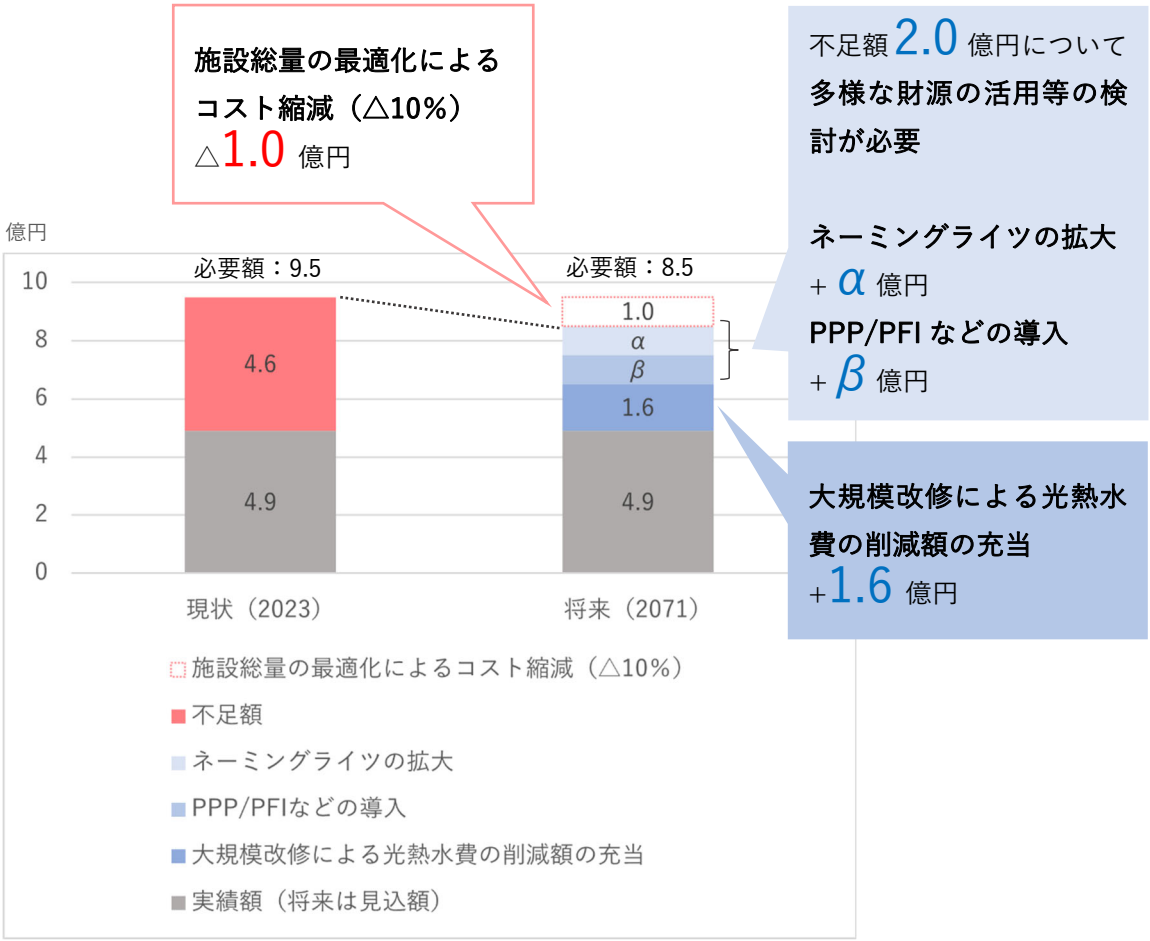
施設規模
25 万㎡

大規模改修・改築費
不足額：2.1 億円/年
必要額：13.9 億円/年
見込額：11.8 億円/年

修繕・性能維持改修費
不足額：2.0 億円/年
必要額：8.5 億円/年
見込額：6.5 億円/年



▲大規模改修・改築費のシミュレーション



▲修繕・性能維持改修費のシミュレーション

2-5. フォローアップ計画

インフラ長寿命化計画の見直しは、キャンパス計画室で立案する。

なお、中期目標・計画期間（6年間）毎に予定しているキャンパスマスタープランの改定による将来像の見直しを踏まえ、現状と課題等を再整理し、見直しを行うこととする。

03　個別施設計画

3-1. 個別施設の状態等

建物劣化診断書（建物カルテ）を活用し、個別施設の状態等（劣化・損傷の状況等）を整理する。

建物情報一覧表は別紙１のとおり。

3-2. 中期修繕計画

個別施設の状態等を踏まえ、個別施設毎に具体的な修繕計画となる「中期修繕計画」を示す。

（1）教育研究施設

1）基本的な考え方

修繕、性能維持改修については、中長期的なコストの見通しで示したとおり、現状において不足額 4.6 億円/年と、予算不足により全ての施設・部位に対応できないため、対策の優先順位の考え方、対策内容と実施時期、対策費用を示す「中期修繕計画（10 年間）」の策定・見直しを行い、計画的に実施する。

なお、大規模改修、改築及び基幹設備・ライフラインの更新については、キャンパスマスタープラン等に基づき、施設整備費補助金等の財源を確保し、計画的に実施する。

2）予算

過去の実績等を勘案し、以下の表のとおり計画する。

第 5 期中期目標・計画期間では、財源の一部である施設費交付金の配分について不透明な状況であるため、新たな財源として、長寿命化促進事業（文科省補助金）の活用、目的積立金の確保、ネーミングライツの拡大、スペースチャージの見直し、土地・建物の有効活用等を検討し、収入増を目指す。

［単位：億円/年］

<table>
<tr><th colspan="2">財源</th><th>第 4 期
中期目標・計画期間
（R6-9）</th><th>第 5 期
中期目標・計画期間
（R10-15）</th></tr>
<tr><td rowspan="5">性能
維持
改修</td><td>教育研究環境改善経費
（スペースチャージ等）</td><td>1.7</td><td>1.7</td></tr>
<tr><td>施設費交付金</td><td>0.2</td><td rowspan="3">2.0
（目標）</td></tr>
<tr><td>目的積立金</td><td>1.0</td></tr>
<tr><td>新たな財源</td><td>α</td></tr>
<tr><td>小計</td><td>2.9+α</td><td>3.7</td></tr>
<tr><td>修繕</td><td>学部等予算</td><td>2.2</td><td>2.2</td></tr>
<tr><td colspan="2">計</td><td>5.1+α</td><td>5.9</td></tr>
</table>

３）対策内容と実施時期及び優先順位の考え方

予算不足により全ての施設・部位に対応できないため、対策内容は、最低限必要となる性能維持（外壁、防水、空調設備、エレベーター等）、地球温暖化対策（LED 化等）、その他安全対策・バリアフリー対策等とする。

実施時期については、以下 4 項目を勘案し、優先順位をつけ、予算の平準化等を考慮する。

①危険度・劣化度・・・・・大事故につながる危険性がある。法的不適合等
②重要度・・・・・・・・・教育研究、学生支援等への影響の大きさ等
③共用度・稼働率・・・・・学生・教職員の利用状況等
④自助努力等・・・・・・・施設等維持管理費の実積率、自己資金等

４）実施事業の決定方法

実施事業の決定にあたっては、「中期修繕計画（10 年間）」を基本とするが、施設の危険度・劣化度等は日々変化することから、毎年度、各学部等のヒアリング及び現地調査を実施し、事業毎の評価を行い、施設マネジメント委員会の審議を経て決定するものとする。

５）中期修繕計画（10 年間）

中期修繕計画（10 年間）は別紙 2 のとおり。

（２）病院施設

大規模改修・改築、性能維持改修については、医療の変化に応じて柔軟に対応するために、再開発整備等による国費（施設整備費補助金、長期借入金等）もしくは自己資金での対応を図る。

修繕費については、必要に応じて自己資金を確保し、病院運営に支障をきたさないよう迅速に対応する。

（３）職員宿舎・学生寄宿舎（国際交流会館含む）

職員宿舎・学生寄宿舎については、家賃収入等活用による独立採算型での整備を前提に、維持管理を含めた PPP/PFI などの官民連携手法の導入を検討することとする。

建物情報一覧表

A ：概ね良好　C ：広範囲に劣化
B ：部分的に劣化　D ：早急に対応する必要がある

建物基本情報											構造躯体の健全性				劣化状況評価						備考※
通し番号	団地名	建物名	棟番号	用途区分	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）	
				建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	試算上の区分							
1	郡元	法文学部１号館	12	校舎	RC	6	4,614	1968	S43	54	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
2	郡元	法文学部２号館	16	校舎	RC	5	1,538	1980	S55	42	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
3	郡元	法文学部３号館	17	校舎	RC	2	549	1980	S55	42	旧	済	-	長寿命	A	A	C	C	C	62	大規模改修対象
4	郡元	総合教育研究棟	20	校舎	RC	7	5,857	2001	H13	21	新	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
5	郡元	理学部１号館	21	校舎	RC	4	6,466	1954	S29	68	旧	済	済	長寿命	A	D	B	B	B	59	
6	郡元	理学部２号館	31	校舎	RC	5	5,277	1968	S43	54	旧	済	済	長寿命	A	D	A	A	A	74	
7	郡元	理学部３号館	38	校舎	RC	4	1,318	1986	S61	36	新	-	-	改築	B	B	B	B	B	75	
8	郡元	農・獣医共通棟	57	校舎	RC	3	7,430	1952	S27	70	旧	済	済	長寿命	D	B	A	A	A	85	
9	郡元	共同獣医学部研究棟Ａ	60	校舎	RC	4	2,951	1965	S40	57	旧	済	済	長寿命	C	B	A	A	A	88	
10	郡元	総合動物実験施設	61	校舎	RC	6	2,972	2015	H27	7	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
11	郡元	農学部研究棟Ｅ	63	校舎	RC	4	2,403	1966	S41	56	旧	済	-	長寿命	D	B	A	A	A	85	
12	郡元	農学部研究棟Ｃ	65	校舎	RC	5	3,275	1966	S41	56	旧	済	済	長寿命	C	B	A	A	A	88	
13	郡元	農学部研究棟Ｄ	67	校舎	RC	5	5,272	1968	S43	54	旧	済	済	長寿命	D	C	A	A	A	75	
14	郡元	先端科学研究推進センター	82	校舎	RC	2	500	1976	S51	46	旧	済	-	長寿命	A	A	C	C	C	62	大規模改修対象
15	郡元	共同利用棟	83	校舎	RC	4	1,989	1978	S53	44	旧	済	-	長寿命	A	B	C	C	C	55	大規模改修対象
16	郡元	共同獣医学部研究棟Ｂ	85	校舎	RC	3	1,370	1984	S59	38	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	大規模改修対象
17	郡元	先端科学研究推進センター	94	校舎	RC	4	1,868	1999	H11	23	新	-	-	改築	A	A	B	B	B	84	
18	郡元	工学系講義棟	101	校舎	RC	3	867	1978	S53	44	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
19	郡元	機械工学１号棟	123	校舎	RC	4	1,720	1965	S40	57	旧	済	-	長寿命	D	A	A	A	A	92	
20	郡元	化学工学棟	126	校舎	RC	4	1,794	1966	S41	56	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
21	郡元	電気電子工学棟	127	校舎	RC	6	4,489	1969	S44	53	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
22	郡元	工学部共通棟	128	校舎	RC	7	4,614	1999	H11	23	新	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
23	郡元	理工系総合研究棟	130	校舎	RC	7	5,553	2002	H14	20	新	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82	
24	郡元	建築学科１号館	133	校舎	RC	3	1,043	1972	S47	50	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
25	郡元	建築学科２号館	134	校舎	RC	5	3,075	1972	S47	50	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
26	郡元	海洋土木工学棟	135	校舎	RC	6	2,755	1975	S50	47	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
27	郡元	海洋波動実験棟	136	校舎	S	1	670	1975	S50	47	旧	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
28	郡元	機械工学第三実験棟	137	校舎	RC	1	500	1978	S53	44	旧	-	-	長寿命	A	A	C	C	C	62	大規模改修対象
29	郡元	機械工学２号棟	139	校舎	RC	4	2,209	1981	S56	41	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
30	郡元	化学生命工学棟	140	校舎	RC	4	2,747	1983	S58	39	新	-	-	長寿命	B	A	C	C	C	60	大規模改修対象
31	郡元	地域コトづくりセンター	141	校舎	RC	2	1,232	1984	S59	38	新	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	大規模改修対象
32	郡元	情報・生体工学棟	143	校舎	RC	5	2,387	1992	H4	30	新	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82	
33	郡元	産学交流プラザ１	144	校舎	RC	3	1,290	1994	H6	28	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	

※「キャンパスマスタープラン2022」のアクションプラン（主要３キャンパスを対象とした６年間の短期行動計画）で「改修優先建物」とした建物を「大規模改修対象」、「取壊・建替検討」とした建物を「建替等検討対象」と記載。これらについては、施設整備費補助金等での整備を検討することとし、原則中期修繕計画の対象外とする。

建物情報一覧表

A ：概ね良好　C ：広範囲に劣化
B ：部分的に劣化　D ：早急に対応する必要がある

建物基本情報											構造躯体の健全性				劣化状況評価						備考※
通し番号	団地名	建物名	棟番号	用途区分	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）	
				建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	試算上の区分							
34	郡元	第二講義棟	161	校舎	S	3	1,477	2015	H27	7	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
35	郡元	生涯教育総合研究棟	162	校舎	RC	4	1,028	1966	S41	56	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
36	郡元	管理棟・理系研究棟	192	校舎	RC	7	5,996	1982	S57	40	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
37	郡元	第１講義棟	194	校舎	RC	3	1,859	1983	S58	39	新	-	-	長寿命	A	B	C	C	C	55	大規模改修対象
38	郡元	文系研究棟	195	校舎	RC	6	3,049	1986	S61	36	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	大規模改修対象
39	郡元	音楽美術科棟	196	校舎	RC	4	2,392	1993	H5	29	新	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
40	郡元	教育実践総合センター	197	校舎	RC	2	529	1994	H6	28	新	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82	
41	郡元	共用棟２	198	校舎	S	1	633	2013	H25	9	新	-	-	改築	B	B	A	A	A	91	
42	郡元	共通教育棟２号館	201	校舎	RC	3	3,150	1954	S29	68	旧	済	済	長寿命	B	B	A	A	A	91	
43	郡元	稲盛アカデミー棟	202	校舎	S	3	1,601	2008	H20	14	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
44	郡元	共通教育棟３号館	204	校舎	RC	4	4,277	1966	S41	56	旧	済	済	長寿命	B	B	A	A	A	91	
45	郡元	共通教育棟１号館	207	校舎	RC	5	5,456	1967	S42	55	旧	済	済	長寿命	A	D	A	A	A	74	
46	郡元	共通教育棟４号館	211	校舎	RC	5	4,873	1972	S47	50	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
47	郡元	連合農学研究科棟	221	校舎	RC	3	1,285	1990	H2	32	新	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
48	郡元	附属動物病院小動物診療センター	230	校舎	RC	3	2,562	2017	H29	5	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
49	郡元	附属動物病院大動物診療センター	231	校舎	RC	2	1,483	1966	S41	56	旧	済	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
50	郡元	軽種馬診療センター	234	校舎	RC	2	636	2008	H20	14	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
51	郡元	研究実習棟	266	校舎	RC	2	881	1981	S56	41	旧	済	-	改築	B	B	C	C	C	53	建替等検討対象
52	郡元	動物飼育棟	268	校舎	S	1	650	1983	S58	39	新	-	-	改築	C	C	C	C	C	40	建替等検討対象
53	郡元	中学校校舎	281	校舎	RC	4	5,353	1962	S37	60	旧	済	済	長寿命	A	B	A	A	A	93	
54	郡元	体育館	292	体育館	RC	2	836	1964	S39	58	旧	済	済	長寿命	A	A	B	B	B	84	
55	郡元	小学校校舎	311	校舎	RC	3	5,690	1958	S33	64	旧	済	済	長寿命	D	C	A	A	A	75	
56	郡元	小学校校舎	315	校舎	RC	3	1,436	1967	S42	55	旧	済	済	長寿命	D	D	A	A	A	67	
57	郡元	体育館	321	体育館	RC	2	904	1965	S40	57	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
58	郡元	幼稚園園舎	331	園舎	RC	1	700	1996	H8	26	新	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
59	郡元	事務局	341	校舎	RC	4	3,345	1968	S43	54	旧	済	-	長寿命	D	A	D	D	D	36	
60	郡元	中央図書館	356	校舎	RC	5	12,704	1994	H6	28	新	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	R6年度概算要求事業（空調のみ）
61	郡元	第一体育館	362	体育館	RC	1	1,125	1962	S37	60	旧	済	-	長寿命	A	A	D	D	D	43	R6年度概算要求事業
62	郡元	第二体育館	364	体育館	RC	2	2,461	1979	S54	43	旧	済	-	長寿命	D	A	C	C	C	55	
63	郡元	稲盛会館	365	校舎	RC	3	1,482	1994	H6	28	新	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
64	郡元	屋内プール	377	体育館	S	2	1,562	1994	H6	28	新	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
65	郡元	中央食堂	392	校舎	RC	2	1,347	1969	S44	53	旧	済	-	長寿命	A	C	D	D	D	26	
66	郡元	学習交流プラザ	393	校舎	S	2	2,210	2013	H25	9	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	

※「キャンパスマスタープラン2022」のアクションプラン（主要３キャンパスを対象とした６年間の短期行動計画）で「改修優先建物」とした建物を「大規模改修対象」、「取壊・建替検討」とした建物を「建替等検討対象」と記載。これらについては、施設整備費補助金等での整備を検討することとし、原則中期修繕計画の対象外とする。

建物情報一覧表

A ：概ね良好　C ：広範囲に劣化
B ：部分的に劣化　D ：早急に対応する必要がある

建物基本情報											構造躯体の健全性				劣化状況評価						備考※
通し番号	団地名	建物名	棟番号	用途区分	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）	
				建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	試算上の区分							
67	郡元	学生サークル会館Ⅰ	394	校舎	S	4	1,284	2013	H25	9	新	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
68	郡元	大学会館	395	校舎	RC	4	1,410	1972	S47	50	旧	済	済	長寿命	A	D	A	A	A	74	
69	郡元	郡元南食堂	397	校舎	S	2	882	1993	H5	29	新	-	-	改築	A	B	B	B	B	77	
70	郡元	保健管理センター	412	校舎	RC	2	902	1976	S51	46	旧	済	-	長寿命	C	B	A	A	A	88	
71	郡元	学生サークル会館Ⅱ－１	425	校舎	S	2	1,957	2002	H14	20	新	-	-	改築	A	A	B	B	B	84	
72	郡元	情報基盤統括センター	429	校舎	RC	4	2,347	1984	S59	38	新	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	大規模改修対象
73	郡元	変電所	443	校舎	RC	4	919	1971	S46	51	旧	済	-	改築	A	A	A	A	A	100	建替等検討対象
74	郡元	産学交流プラザ２	446	校舎	S	3	1,496	2004	H16	18	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
75	郡元	共用棟	452	校舎	S	2	583	2007	H19	15	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
76	下荒田１	水産学部１号館	19	校舎	RC	3	4,207	1953	S28	69	旧	済	済	長寿命	A	D	B	B	B	59	
77	下荒田１	水産学部５号館	27	校舎	RC	3	1,613	1970	S45	52	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
78	下荒田１	水産学部３号館	28	校舎	RC	2	800	1976	S51	46	旧	済	-	長寿命	A	B	C	C	C	55	大規模改修対象
79	下荒田１	水産学部４号館	29	校舎	RC	3	1,303	1981	S56	41	旧	済	-	長寿命	A	A	C	C	C	62	大規模改修対象
80	下荒田１	図書分館	41	校舎	RC	2	795	1970	S45	52	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
81	下荒田１	水産学部６号館	64	校舎	RC	2	715	1980	S55	42	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
82	下荒田１	水産学部２号館	110	校舎	RC	4	1,626	2013	H25	9	新	-	-	長寿命	A	C	A	A	A	83	
83	唐湊２	研究実習棟	8	校舎	RC	2	752	1981	S56	41	旧	済	-	長寿命	B	C	C	C	C	43	
84	下伊敷	校舎	1	校舎	RC	2	2,427	1982	S57	40	新	-	-	長寿命	A	C	C	C	C	45	R6年度概算要求事業
85	下伊敷	体育館	2	体育館	RC	1	604	1982	S57	40	新	-	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	
86	海潟	研究棟	65	校舎	RC	2	993	1980	S55	42	旧	済	-	長寿命	A	C	C	C	C	45	
87	十町	研究棟及宿泊施設	22	校舎	RC	3	820	1976	S51	46	旧	済	-	長寿命	A	A	C	C	C	62	
88	入来	管理棟	31	校舎	RC	2	659	1968	S43	54	旧	済	-	長寿命	A	C	A	A	A	83	
89	入来	畜舎	34	校舎	S	1	1,620	2024	H36	-2	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
90	入来	肥育牛舎	52	校舎	S	1	1,500	1990	H2	32	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
91	入来	牛舎	55	校舎	S	1	672	2009	H21	13	新	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
92	桜ヶ丘	医学部臨床講義棟	8	校舎	RC	3	1,121	1973	S48	49	旧	済	-	長寿命	D	D	D	D	D	10	大規模改修対象
93	桜ヶ丘	医歯学総合研究科棟２	9	校舎	RC	8	8,663	1974	S49	48	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
94	桜ヶ丘	医学部基礎講義実習棟	10	校舎	RC	4	1,666	1974	S49	48	旧	済	済	長寿命	B	B	A	A	A	91	
95	桜ヶ丘	医歯学総合研究科棟３	11	校舎	RC	8	9,391	1974	S49	48	旧	済	済	長寿命	B	B	A	A	A	91	
96	桜ヶ丘	保健学科西研究棟	12	校舎	RC	3	2,122	1974	S49	48	旧	済	済	長寿命	B	D	C	C	C	34	
97	桜ヶ丘	福利厚生施設	17	校舎	RC	3	1,384	1974	S49	48	旧	済	済	長寿命	B	A	A	A	A	98	
98	桜ヶ丘	実験施設	18	校舎	RC	2	824	1974	S49	48	旧	済	-	改築	D	D	C	C	C	29	建替等検討対象
99	桜ヶ丘	先端科学研究推進センター	19	校舎	RC	6	4,233	1974	S49	48	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	

※「キャンパスマスタープラン2022」のアクションプラン（主要３キャンパスを対象とした６年間の短期行動計画）で「改修優先建物」とした建物を「大規模改修対象」、「取壊・建替検討」とした建物を「建替等検討対象」と記載。これらについては、施設整備費補助金等での整備を検討することとし、原則中期修繕計画の対象外とする。

建物情報一覧表

A ：概ね良好　C ：広範囲に劣化
B ：部分的に劣化　D ：早急に対応する必要がある

建物基本情報											構造躯体の健全性				劣化状況評価						備考※
通し番号	団地名	建物名	棟番号	用途区分	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）	
				建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	試算上の区分							
100	桜ヶ丘	図書館桜ヶ丘分館	24	校舎	RC	3	2,010	1976	S51	46	旧	済	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
101	桜ヶ丘	体育館	29	体育館	RC	1	1,072	1981	S56	41	旧	済	-	長寿命	D	D	C	C	C	29	大規模改修対象
102	桜ヶ丘	医歯学総合研究科棟４	33	校舎	RC	4	1,474	1988	S63	34	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
103	桜ヶ丘	ヒトレトロウィルス学共同研究センター	34	校舎	RC	4	1,290	1994	H6	28	新	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82	
104	桜ヶ丘	医歯学総合研究科共同利用研究棟	35	校舎	RC	5	1,773	1974	S49	48	旧	済	済	長寿命	B	B	A	A	A	91	
105	桜ヶ丘	医歯学総合研究科棟１	41	校舎	RC	9	11,349	1979	S54	43	旧	済	済	長寿命	B	B	C	C	C	53	大規模改修対象
106	桜ヶ丘	歯学部講義実習棟	42	校舎	RC	4	2,915	1980	S55	42	旧	済	済	長寿命	C	B	C	C	C	50	大規模改修対象
107	桜ヶ丘	鶴陵会館	44	校舎	RC	2	1,647	1996	H8	26	新	-	-	長寿命	D	B	B	B	B	70	
108	桜ヶ丘	保健学科東研究棟	101	校舎	RC	5	4,817	1986	S61	36	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
109	桜ヶ丘	共通教育棟	104	校舎	RC	6	4,223	2002	H14	20	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
110	桜ヶ丘	医歯学総合研究科棟５	109	校舎	S	2	801	2010	H22	12	新	-	-	改築	B	A	A	A	A	98	
111	桜ヶ丘	仮設研究実験棟	112	校舎	S	2	1,565	2014	H26	8	新	-	-	改築	A	B	A	A	A	93	
112	東町	教育研究宿泊棟	1	校舎	RC	2	692	1972	S47	50	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
113	明和	一般管理施設	1	校舎	RC	4	598	1973	S48	49	旧	済	-	長寿命	C	C	A	A	A	78	
114	与次郎ヶ浜	船具保管庫	3	校舎	S	1	723	1979	S54	43	旧	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
115	与次郎ヶ浜	艇庫	4	校舎	S	1	600	1983	S58	39	新	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
116	桜ヶ丘	中央機械棟	3	その他	SR	2	2,429	1973	S48	49	新	-	-	改築	A	B	C	C	C	55	建替等検討対象
117	桜ヶ丘	病棟・診療棟（Ｂ棟）	4	病院	RC	9	18,102	2017	H29	5	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
118	桜ヶ丘	外来診療棟・病棟（Ａ棟）	6	病院	RC	8	28,844	2024	H36	-2	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
119	桜ヶ丘	病棟（Ｃ棟）	7	病院	RC	9	15,295	2013	H25	9	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
120	桜ヶ丘	看護師宿舎	14	寄宿舎	RC	2	586	1974	S49	48	旧	済	-	改築	B	B	C	C	C	53	建替等検討対象
121	桜ヶ丘	看護師宿舎	15	寄宿舎	RC	6	3,382	1974	S49	48	旧	済	-	改築	C	B	C	C	C	50	建替等検討対象
122	桜ヶ丘	救急集中治療棟	32	病院	S	3	2,603	1987	S62	35	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	大規模改修対象
123	桜ヶ丘	資料保管庫	103	病院	RC	1	681	1990	H2	32	新	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
124	桜ヶ丘	中央診療棟	106	病院	RC	4	8,175	2009	H21	13	新	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98	
125	桜ヶ丘	立体駐車場	108	病院	S	2	2,988	2008	H20	14	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
126	下荒田１	下荒田宿舎	3	寄宿舎	RC	5	1,800	1969	S44	53	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
127	下荒田１	外国人研究者宿泊施設Ａ	104	寄宿舎	RC	2	502	2003	H15	19	新	-	-	長寿命	C	A	B	B	B	79	
128	唐湊２	鴨池宿舎	1	寄宿舎	RC	5	1,805	1970	S45	52	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
129	紫原２	紫原宿舎	1	寄宿舎	RC	5	1,055	1971	S46	51	旧	済	済	長寿命	A	A	A	A	A	100	
130	明和	原良宿舎２号棟	2	寄宿舎	RC	5	1,055	1975	S50	47	旧	済	済	長寿命	A	D	C	C	C	37	
131	明和	原良宿舎３号棟	3	寄宿舎	RC	5	2,030	1978	S53	44	旧	済	済	長寿命	A	D	C	C	C	37	
132	東郡元	郡元宿舎１号棟	1	寄宿舎	RC	5	1,354	1983	S58	39	新	-	-	長寿命	D	C	C	C	C	37	

※「キャンパスマスタープラン2022」のアクションプラン（主要３キャンパスを対象とした６年間の短期行動計画）で「改修優先建物」とした建物を「大規模改修対象」、「取壊・建替検討」とした建物を「建替等検討対象」と記載。これらについては、施設整備費補助金等での整備を検討することとし、原則中期修繕計画の対象外とする。

建物情報一覧表

A ：概ね良好　C ：広範囲に劣化
B ：部分的に劣化　D ：早急に対応する必要がある

建物基本情報											構造躯体の健全性				劣化状況評価						備考※
通し番号	団地名	建物名	棟番号	用途区分	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）	
				建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	試算上の区分							
133	東郡元	郡元宿舎２号棟	2	寄宿舎	RC	5	1,354	1983	S58	39	新	-	-	長寿命	D	C	C	C	C	37	
134	東郡元	郡元宿舎３号棟	3	寄宿舎	RC	5	1,354	1983	S58	39	新	-	-	長寿命	D	C	C	C	C	37	
135	東郡元	郡元宿舎４号棟	4	寄宿舎	RC	5	1,354	1983	S58	39	新	-	-	長寿命	D	C	C	C	C	37	
136	岡之原	岡之原宿舎	1	寄宿舎	RC	5	1,354	1980	S55	42	旧	済	済	長寿命	D	D	C	C	C	29	
137	下荒田１	国際交流会館１号館	101	寄宿舎	RC	4	1,419	1979	S54	43	旧	済	済	長寿命	A	B	C	C	C	55	大規模改修対象
138	下荒田１	国際交流会館２号館	103	寄宿舎	RC	4	1,260	1994	H6	28	新	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82	
139	下荒田１	国際交流会館３号館	109	寄宿舎	RC	5	1,507	2013	H25	9	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
140	唐湊１	男子寄宿舎Ｃ棟	16	寄宿舎	RC	2	629	1961	S36	61	旧	済	-	長寿命	B	C	D	D	D	24	
141	唐湊１	女子寄宿舎	19	寄宿舎	RC	4	1,627	1966	S41	56	旧	済	済	長寿命	A	B	B	B	B	77	
142	唐湊１	男子寄宿舎Ａ棟	22	寄宿舎	RC	5	1,412	1982	S57	40	新	-	-	長寿命	B	C	C	C	C	43	
143	唐湊１	男子寄宿舎Ｂ棟	23	寄宿舎	RC	5	1,568	1983	S58	39	新	-	-	長寿命	B	C	C	C	C	43	
144	桜ヶ丘	桜ヶ丘寄宿舎	13	寄宿舎	RC	5	2,693	1974	S49	48	旧	済	済	長寿命	B	B	C	C	C	53	大規模改修対象

※「キャンパスマスタープラン2022」のアクションプラン（主要３キャンパスを対象とした６年間の短期行動計画）で「改修優先建物」とした建物を「大規模改修対象」、「取壊・建替検討」とした建物を「建替等検討対象」と記載。これらについては、施設整備費補助金等での整備を検討することとし、原則中期修繕計画の対象外とする。

中期修繕計画（10年間）

単位：千円

中期目標・計画期間		第４期中期目標・計画期間												第５期中期目標・計画期間		
項目	実施内容	R6年度			R７年度			R８年度			R９年度			R１０年度		
		団地	棟	概算金額	団地	棟	概算金額	団地	棟	概算金額	団地	棟	概算金額	団地	棟	概算金額
性能維持改修	外壁等	郡元	大学会館	290,000	郡元	理学部１号館(1/2) 共通教育棟１号館 （渡り廊下）	290,000	郡元	理学部１号館(1/2) 理学部2号館 （東側タイル面のみ）	290,000	－	－	290,000	下荒田	変電室	370,000
	防水	郡元	小学校校舎（東側）		郡元	農学部研究棟E		郡元	農学部研究棟D		－	－		郡元 下荒田	事務局 機械工学１号棟 機械工学第一実験棟 実験・実習支援棟 外国人研究者宿泊施設	
	エレベーター	桜ヶ丘	鶴陵会館 共通教育棟 (安全性向上の法的対応)		郡元	理学部３号館 (部品供給停止)		－	－		郡元	工学部講義棟 （バリアフリー対応【新設】）		下荒田	水産学部1号館 （バリアフリー対応【新設】）	
	空調設備 (EHP化)	郡元	郡元南食堂、教育実践総合センター、産学交流プラザ１、附属動物病院大動物診療センター、実習棟（教育）、事務局、車庫、先端科学研究推進センター（東側）		郡元	総合教育研究棟		郡元 桜ヶ丘 下荒田	学生サークル会館Ⅱ-1 保健学科西研究棟 水産学部1号館		桜ヶ丘	保健学科東研究棟 共通教育棟		郡元	理学部1号館(4/5) (2023年に1/5実施済み) 産学交流プラザ２(8/15) (2023年等に7/15実施済み)	
	地球温暖化対策 (LED化等)	桜ヶ丘 下荒田	医歯学総合研究科棟４ 水産学部１号館		郡元	総合教育研究棟		桜ヶ丘	保健学科西研究棟 保健学科東研究棟		郡元	理工系総合研究棟 （2/3）		郡元	理学部1号館 産学交流プラザ２	
	その他	郡元等	安全対策・バリアフリー対策等		郡元等	安全対策・バリアフリー対策等		郡元等	安全対策・バリアフリー対策等		郡元等	安全対策・バリアフリー対策等		郡元等	安全対策・バリアフリー対策等	
修繕		郡元等	経常修繕	220,000	郡元等	経常修繕	220,000	郡元等	経常修繕	220,000	郡元等	経常修繕	220,000	郡元等	経常修繕	220,000
計				**510,000**			**510,000**			**510,000**			**510,000**			**590,000**

※予算状況、施設の危険・劣化等による緊急対応等により変更が生じる。

中期修繕計画（10年間）

単位：千円

中期目標・計画期間		第５期中期目標・計画														
項目	実施内容	Ｒ１１年度			Ｒ１２年度			Ｒ１３年度			Ｒ１４年度			Ｒ１５年度		
		団地	棟	概算金額	団地	棟	概算金額	団地	棟	概算金額	団地	棟	概算金額	団地	棟	概算金額
性能維持改修	外壁等	－	－	370,000	桜ヶ丘	武道場	370,000	桜ヶ丘	保健学科西研究棟	370,000	－	－	370,000	郡元 下荒田	小学校校舎（東側） 水産学部1号館	370,000
	防水	郡元	第二体育館 同窓会館 武道場		郡元 桜ヶ丘	農学部研究棟C 鶴陵会館		郡元	小学校校舎（西側）		郡元	農・獣医共通棟		－	－	
	エレベーター	郡元	海洋土木工学棟 （バリアフリー対応【サイズ拡張】）		郡元	音楽美術棟 （バリアフリー対応【新設】） ※大型の場合は別途16,000千円要		郡元	連合農学研究科棟 （バリアフリー対応【新設】）		郡元	事務局 （バリアフリー対応【サイズ拡張】）		郡元	中央図書館 （老朽化）	
	空調設備（EHP化）	郡元	理工系総合研究棟 農学部研究棟E		郡元	農学部研究棟D		郡元	小学校校舎 インフォメーションセンター 焼酎・発酵学教育研究センター		郡元	農・獣医共通棟		郡元	農学部研究棟C 講義棟（理学部） 軽種馬診療センター	
	地球温暖化対策(LED化等)	郡元 桜ヶ丘	理工系総合研究棟 （1/3） 共通教育棟		郡元	学生サークル会館Ⅱ－１ 第二体育館		郡元	小学校校舎（西側） （2/3）		郡元	小学校校舎（西側） （1/3） 農学部研究棟Ｅ		郡元	農学部研究棟D	
	その他	郡元等	安全対策・バリアフリー対策等		郡元等	安全対策・バリアフリー対策等		郡元等	安全対策・バリアフリー対策等		郡元等	安全対策・バリアフリー対策等		郡元等	安全対策・バリアフリー対策等	
修繕		郡元等	経常修繕	220,000	郡元等	経常修繕	220,000	郡元等	経常修繕	220,000	郡元等	経常修繕	220,000	郡元等	経常修繕	220,000
計				**590,000**			**590,000**			**590,000**			**590,000**			**590,000**

※予算状況、施設の危険・劣化等による緊急対応等により変更が生じる。

全体額（R6～R15）	**5,580,000**